

10. その他の取り組み

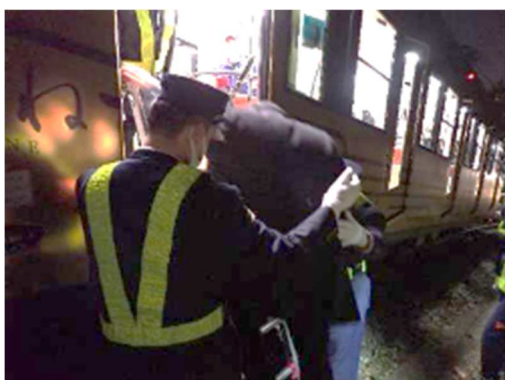
(1) 鋼索線(石清水八幡宮参道ケーブル)の安全対策

鋼索線は鋼索(ワイヤロープ)に繋がれた車両(ケーブルカー)を巻上装置で巻き上げて運転する仕組みになっています。

そのため、運転士は山上側にある運転室で巻上装置の操作を行い、車掌はケーブルカーの車内に乗務し、運行中の前方確認や扉操作を行います。このように運転士が車内にいないことや急勾配で運転するため、特にロープの点検・整備には細心の注意を払い運転保安の確保に努めています。

▶鋼索線事故想定訓練

不測の事故・トラブルに備え、お客さまの避難誘導や連絡系統を確認する訓練を2020年度は12月に実施しました。



(2) ひらかたパークの安全対策

当社が運営する「ひらかたパーク」では、鉄道技術専門が安全性を確認し、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、高い技術レベルで遊戯機の安全を支えています。



(3) 非常時支援活動用ワッペン

当社社員が私服で当社線を利用中に事故・災害などの非常事態に遭遇した際、このワッペンを着用し、支援活動を行います。鉄道従事員であることを周囲に明示し、円滑な支援活動ができるよう備えています。



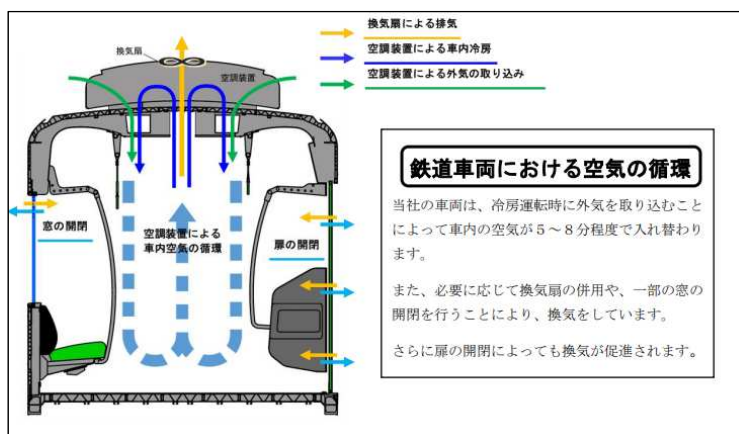
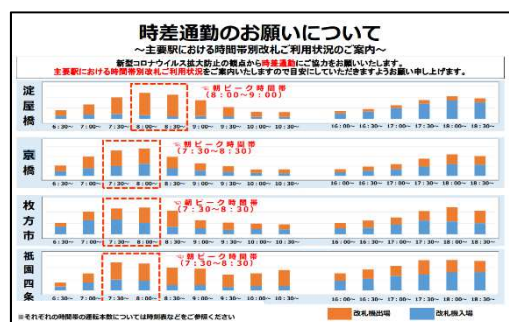
(4) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、国土交通省や厚生労働省からの要請および「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、以下の取り組みを実施しています。

▶対策の一例（2021年3月31日現在）

お客さまに関する対策

- ・換気扇の連続使用ならびに窓開けによる車内換気
- ・主要駅の時間帯別改札ご利用状況(時差通勤のお願い)を随時ホームページに掲出
- ・駅および車内における啓発放送の実施
- ・車内消毒
- ・全駅トイレにおけるハンドソープの設置
- ・インフォステーションに飛沫飛散防止シートを設置



従業員に関する対策

- ・出勤前には必ず検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は出勤させない等の健康管理
- ・出退勤を含めたマスク着用
- ・時差出勤等の積極的推進
- ・新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が発表している「『新しい生活様式』の実践例」等のポスターを掲出